

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	2015. 3. 3
主管学校名	高知大学教育学部附属幼稚園
P T A会長名	山本 乃夫

実施概要	主管校	高知大学教育学部附属幼稚園
	交流校	高知大学教育学部附属特別支援学校
	実施活動名	親子餅つき
	実施日時	平成27年1月14日9:00~12:00
	実施場所	高知大学教育学部附属幼稚園
	実施目的	幼稚園の親子と特別支援学校の生徒との交流
	実施内容	特別支援学校高等部の生徒に餅を搗いてもらい、幼稚園の親子も一緒に餅つきをし、食べる。
	実施方法	特別支援学校高等部の生徒に餅をほぼ仕上げまで搗いてもらい、その続きを幼稚園の親子で搗く。
	参加人数	高知大学教育学部附属幼稚園園児・保護者109組 特別支援学校高等部6名・教師3名

報告事項	内容	<p>高知大学教育学部附属幼稚園の親子餅つきで2臼のうち1臼を、附属特別支援学校の高等部1年生にほぼ仕上げまで搗いてもらい、その続きを附属幼稚園の園児の親子が搗いた。特別支援学校の生徒が餅を搗くときには、園児も一緒に掛け声をかけたり、力強い搗き方に見入ったりし、搗きあがると「ありがとう」とお礼を言った。</p> <p>その後、出来上がった餅を園児は親子であんこや黄粉、チーズ、のり、醤油等（材料費の一部は附属幼稚園行事費）と一緒に食べ、特別支援学校の生徒は先生と一緒に同様に食べた。</p>
	結果	<p>附属特別支援学校は、大学の敷地内にあり、附属幼稚園とは離れている（車で20分程度）。そのため、日頃は交流する機会がほとんどないが、親子餅つきでは、子どもだけでなく保護者も間近に特別支援学校の生徒を見ることができ、また、特別支援学校の生徒の得意とする餅つきを見ることで、特別支援学校の生徒への親しみや理解、交流が深まったと思われる。</p>
	所感	<p>幼稚園の園児も保護者も特別支援学校の生徒と、よい交流の時をもてたと思う。皆、楽しそうだった。特別支援学校の生徒さんも喜んで餅を搗いたり食べたりしていた。</p>



添付書類

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月3日		
学校名	高知大学教育学部附属幼稚園		
学年	年長・年少	氏名	

- ・つきたてのおもちが、やわらかくおいしかった。
- ・おもち用のお米がご飯と似ていたけど、おもちのにおいがした。
- ・おもちをつくのがおもしろかった。（おもちつきの後数日、砂場でおもちつきごっこが続いた）
- ・お父さんや、お兄さん達（特別支援学校の生徒さん）がおもちをつくのを見るのが楽しかった。すごい力で上手だった。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 3 月 3 日
学校名	高知大学教育学部附属幼稚園
氏名	

年少保護者

- ・今までお餅が嫌いで食べなかったのに、お餅つきで搗きたての美味しいお餅を食べて、すっかり好きになってうれしいです。

年中保護者

- ・特別支援学校の生徒さん達はずっと搗いていて、でも楽しそうで、えらいなと思いました。

年長保護者

- ・特別支援学校の生徒さん達のお餅の搗き方、3人で素早くトントン搗いていて、リズムがよかった。よくぶつからないように上手に搗けると思い、感心しました。
- ・（隣の臼で搗いていたお父さん）僕達は最初に回りながらもち米をつぶしていくとき、目が回ってしまって長く搗けなかったのに、特別支援学校の生徒さん達は、平気で黙々と搗いていて、プロだなと思いました。